

1882
2009
3 / 1

府民の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／平井 賢治 編集人／西村 浩美
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

3・12春闘統一行動

早朝：各地域で春闘勝利宣伝行動
ランチタイムデモ
夕方：関西経済連合会包囲行動



計画撤回、府民参加を求める シンポジウム開催

2月28日、府職労と大阪自治体問題研究所は、橋下知事が府議会に提案している府庁舎をWTCに移転する問題で、「黙ってられへん！府庁舎のWTC移転」シンポジウムをいきいきエインジングセンターで開催しました。

あいさつにたった平井委員長は、東南海・南海地震が予測されているもので「防災対策の拠点としても府庁舎の役割は重要」として、WTCは非常時の参集が困難であり「防災拠点となりにくい」と訴えました。また、府当局の3案(移転、耐震補強、建替)比較が「移

何のため、誰のためのWTC移転なのか

「都市構想(素案)は破綻したテクノポート大阪と代わり映えのない焼き直しにすぎず、起爆剤といった威勢の良い表現でまだぞろぞろ大開発の見果てぬ夢をかき立てるだけの代物」と評し、WTCへの移転は「関西経済界の要望を橋下知事が丸飲みしたもの」と指摘しました。

パネリストとして、塩崎賢明神戸大学教授(兵庫県震災復興研究センター代表理事)、角橋徹也氏(都市プランナー)、元府職労委員(長)、飯田秀男氏(全大阪消費者団体連絡会事務局

長)の3名が発言。塩崎教授は、「知事は、起爆剤や活性化とまるで高度成長期かバブル期のような威勢の良いフレーズを並べているが、実際は新機軸でもなんでもなくふた昔前の開発主義の延長」と指摘し「移転で活性化するというのは幻想」として、かつて大阪市中島公会堂をつぶして超高層ビルに建設する計画を立てた時にたまたま経験にふれ「歴史と文化が息づく大阪城一帯の資源を食いつぶし、投げ捨ててしまおうのか。それとも、これを磨き、光り輝く府庁舎は、品格があり、交通の便が良く、いざというときに機能を發揮できる場所、規模、体制であってほしい」として、「今回の移転騒動は知事の思いつき」「府民に説明をして急がずに十分に議論すべきではないか」と述べました。

2月24日、2月府議会開会にあたり、雨が降る寒い天候にも関わらず、多くの府民、団体が府庁包囲行動に参加しました。主催は府民要求連絡会。

集会は、小松久日本共産党府議員があいさつにたち、府民生活を守る立場から2月府議会へのたたかう決意がされ、各団体から府議会にむけた決意表明がされました。

新日本婦人の会、教務事務補助員、大阪国際児童文学館を育てる会の方々から次のとおり訴えと決意表明がされました。「大阪を子育てしやすいまちにしていく」と、

府民のための府政 づくりに奮闘しよう

2月府議会開会 府庁包囲行動

で、永年積み上げたスキルをいかして私は仕事を続けたい(教務事務補助員)。「1月21日はじめて知事と会った。知事はまず『天阪中央図書館を完全民営化し、そこに児童文学館の70万冊を運んで資料を活用させてもらう』と言った。9月府議会では全会一致で請願を通してくれ、それを重く受け止めると言いがら、今回の児童文学館廃止条例である。他府県の人が見ると大阪府は変だ。おかしいと言っている。東京人から見たら石原も悪いと思っていたが、こんな悪い知事ではないのか、京都の人は誰が大阪を州都って決めたのかと。大阪府民の『財政危機』で固まった呪文をどうやって解くかというものが私たちにかけられている大きな課題である(大阪国際児童文学館を育てる会)。



2月府議会は、暮らし、福祉、医療、文化を守る府政なのか、財界大企業の要望に沿った府政、関西州への準備、WTCへの府庁移転につきすすむのか、きわめて大事な議会となります。橋下「行革」路線は、府民の要求・思いとの矛盾がいっそう大きく広がります。議会の状況を府民に広く知らせ、府民のための府政づくりに奮闘しようとの行動提起が確認され、天満橋までデモ行進が行われました。

遊歩道

「おくくし ぶりやな」「ご無沙汰しています」という30歳前後の先輩・後輩の会話が耳に飛び込んできました。彼ら2人は会話の内容から学生時代に野球部に所属していたと思われる。その話はどういうことではないのですが、先輩から「今、何してるんや」と聞かれた後輩は「正社員になかなかたれなくて、やむなくアルバイトで食べています。色々バイトはしてきてたが、今は、3年前からコンビニで責任者のようなことをしている。時給を上げる上げると言われながら、約束が1年間反故にされているため、店は困ると思うがアルバイトを辞めようと思ってる。今のようなき方には将来どうなるのか自分でもわからない」という車中の会話です。眠気も吹き飛んだ20分間でした。彼は、独身で親元から通いながらアルバイトで生活していますが、自立した生活は困難です。コンビニを辞めたいという職業に就くか分りませんが、全労働者の4割近い方が非正規労働者として黙々とまじめに働いています。後輩の言葉にもあったように「将来に明るさを見出せない働かされ方」は社会の発展を阻害する結果をもたらします。

(T)